

University
Current
Review

ISSN 0288-1748 2022(令和4)年 7月20日発行 [隔月刊]

[特集] 大学のサイバーセキュリティの現状

大学時報

NO.405
2022. **07**

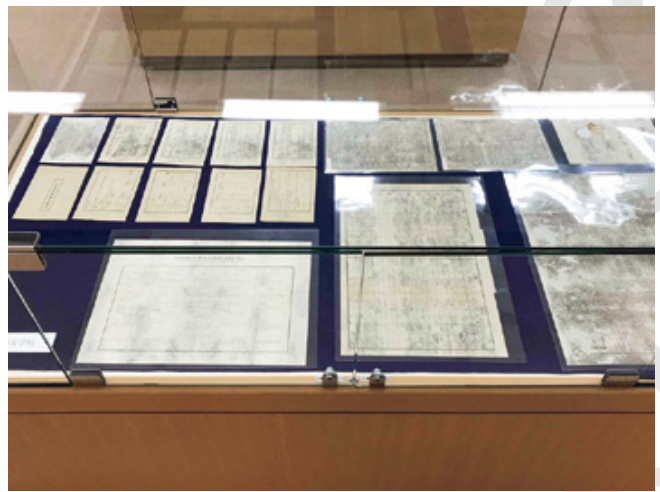


日本私立大学連盟

宮城学院女子大学



保管されていた定礎箱と格納品



修復後の資料



焼け落ちた第一校舎に佇むケート・I・ハンセン先生*

当時の教育者たちの気概を伝える定礎格納品の数々

大学図書館に「何だかわからないけれど、貴重な資料」と伝えられてきた、銅製の箱があった。蓋を開けてみると、他の学校の名称が記されている文書が見える。ひっくり返して中を確認しようとする、ちよつと触れただけでボロボロ崩れてくる。これはいけない。そこで、紙資料の修復士に依頼して保存処置をしてもらったところ、地元紙『河北新報』など1903(明治36)年9月10日付の新聞が3紙、それに本学前身の宮城女学校をはじめ、仙台市内のキリスト教諸学校と宮城県第一高等女学校の学則が存在していることが判明した。新聞の日付が示すのは、第一校舎の定礎式(木造家屋で言えば上棟式)の日付であった。そう、正体不明のこの箱は、第一校舎の定礎石を掘り窪めてはめ込まれた「定礎格納品」だったのである。第一校舎は、火事で焼失した木造校舎に替わる、宮城女学校初のレンガ造りの建物だった。一般には、自校の資料の

みを封入して建物の存続を願う定礎格納品であるが、志を同じくする学校とともにキリスト教教育の発展、女子教育の発展を願った当時の教員、理事の意識の高さに感動を覚えた。中には、「私立女子自助館」という、今はその痕跡すらうかがえない、教会によって運営された裁縫学校の学則もあり、歴史資料としての価値も高く評価されている。1945(昭和20)年7月10日の仙台空襲で焼けた落ちた第一校舎の、レンガの壁と定礎石に守られた銅製の箱には被熱の痕跡も残り、箱の中で蒸し焼きにされそうになった文書類、新聞は、明治のキリスト教教育者の気概と、戦争の愚かさを伝える貴重な証言者として、本学の貴重な教育遺産となっている。

※1907(明治40)年から音楽科教師として在職し、戦後、大学音楽科初代学科長となった。

表紙：ダリア

キク科の多年草。メキシコ原産で夏に大輪の鮮やかな花が咲きます。日本には江戸後期にオランダ船によって渡来しました。和名を天竺牡丹(テンジクボタン)と言いますが、インドに由来する訳ではなく、天竺を接頭語的に用いて「遠方・舶来の」牡丹に似た花、という意を表します。

*表紙デザインでは教育・成長・向上を植物になぞらえ、1年ごとにさまざまな種・葉・花・実を紹介します。今年度は花のシリーズです。

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|-----|-----|---------|------------------|-------|-----------|----------|------------------------------------|----------------|----------------|---------------------------|----------------|---|------------------|-------------------------|-------------------------------|-----------------------------|-------------------|--------------------|--------------------|-----------------------------|
| 128 | 127 | 125 | 123 | 118 | 116 | 108 | 106 | 104 | 102 | 98 | 96 | 90 | | | | | | | | | |
| 編集後記 | | | 私大連ニュース | 執筆者・出席者のご紹介(掲載順) | 新学長紹介 | 東洋英和女学院大学 | 新会員代表者紹介 | 大谷大学／立正大学／成城大学／成蹊大学／園田学園女子大学／創価大学／ | 同志社女子大学／東洋学園大学 | 日本私立大学連盟の提言・主張 | ウクライナの学生等の受け入れに関する財政支援等要望 | クローズアップ・インタビュー | 株式会社マルガー代表取締役、ジェラートマエストロ 柴野大造さんに聞く (聞き手)川島葵 | 書籍POP作りで高大連携 宝島格 | 医学部主催のビジネスプランコンテスト 田澤雄基 | 加盟校の幸福度ランキングアップ《ユニーク・コンテスト編2》 | 臨床検査と臨床工学の次世代のリーダーを育成する 長岡功 | 明日への試み 順天堂大学医療科学部 | 私の授業実践〜教育現場の最前線から〜 | 看護が伝わる講義を目指して 岡村光子 | 寄稿 オンライン教育が切り拓く「これから」 倉林眞砂斗 |



未完の大学。 京都橘大学。

4学部8学科から8学部15学科へ。

志願者の数は7,693人から19,285人へ。

校舎の面積は32,859㎡から70,493㎡へ。

この10年で、京都橘大学は大きな変化を遂げた。

でも、これで終わりじゃない。いや、終わりはない。

京都橘大学は、変わりつづけていく。

学生たちとともに、成長しつづけていく。

ここは、これまでもこれからも

「変化を楽しむ人」が集う場所だから。

さあ、つくりだそう。

もっともっと予想外な未来を。

!?予想外にいいところ。



京都橘大学
KYOTO TACHIBANA UNIVERSITY

KYOTO TACHIBANA UNIVERSITY

!?予想外にいこう。

学生がやりたい
ことをやる授業!?



ICUを
疑似体験!?



工学部



2021年4月に新設した工学部情報工学科では、最新機器を使って授業を行います。例えば、現実とバーチャルが融合した世界を体験できる「Microsoft HoloLens 2」というMR (Mixed Reality・複合現実) デバイスを使って、1回生のうちから体験型アプリ開発を行います。学生一人ひとりが日々の生活のなかで感じた「なぜ?」や「こんなことやってみたい!」がそのまま授業テーマになることも。学生の「おもしろそう! やってみたい!」に教員が応え、一緒に作っていく。これまでにないチャレンジができる環境、知的好奇心を伸ばしている学びのコミュニティを大切にしています。

看護学部

重症患者の対応で、常に慌ただしく緊迫した空気が張り詰めるICU (集中治療室) や救命救急センター。看護学生であってもなかなか入る機会のない、非日常的な空間です。そんな現場の空気を肌で感じながら、実践的な看護技術を身につけるため、2020年に最新施設「シミュレーションcommons」をつくりました。ここでは、救命救急センターやICUをはじめ、一般病棟、子供を出産する分娩室、災害現場に至るまで、看護師が働くさまざまな環境を映像と音響でリアルに再現。大学にいながらも本番さながらの環境に入り込み、刻々と変わっていく状況や看護の現場を体感しながら充実した看護技術を学ぶことができます。





学部が増えた、
同時に3つ!?



まちにとけこむ
たちバナ生!?



AI時代の社会の要請に応えられるよう、2021年4月「工学部」「経済学部」「経営学部」の3学部を同時に新設。また、学生と教職員の交流拠点となる「アカデミックリンクス」を竣工しました。この新学部には「3学部合同科目」を開講しています。複数学科の学生が越境しあうことで相互の違いを理解し、その違いを生かしながらさまざまなPBLに参加します。AIやビッグデータなど最新技術の発展が加速し、コロナウイルス感染症の影響も加わって生活のあり方が刻一刻と変化していく今日。文系・理系にとらわれず、各専門分野の知識を融合させることで新たな価値を創造し、社会を豊かにしていく力を養います。

夕暮れ時になると、色とりどりの陶器や切子ガラスに浮かべたろうそくに学生たちが火を灯す光景がキャンパスの中でみられます。これは陶灯路といって、京都を代表する伝統工芸品である清水焼陶器に火を灯したもの。まちづくり研究会では、山科の清水焼職人さんや地域の方々と協力して陶灯路のイベントを行っており、今年で10年以上続いています。他にも、絵葉書プロジェクトや子ども食堂など、地域と共にさまざまなプロジェクトを展開。山科地域の課題を解決したり、地域のつながりを深めたりと、地域に根ざした大学だからこそできるまちづくりを実践しています。



『京都橘大学に潜入してみた!』
WEBCMムービーはこちら



もっと詳しくみたい方は
「予想外にいこう。」
特設サイトへ

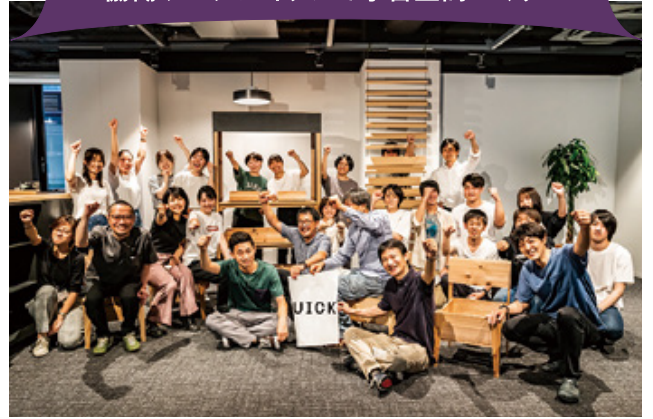


京都橘学園は創立120周年を迎えました。 学生たちとともに成長し続けていきます。

2022年3月スポーツとテクノロジーの融合
KYOTO TACHIBANAスタジアム誕生



無印良品 京都山科との
協働ワークショップで学習空間づくり



2023年4月に9つめの新学部、総合心理学部が開設予定!

※計画内容は予定であり変更することがあります



京都橘大学

KYOTO TACHIBANA UNIVERSITY

〒607-8175 京都市山科区大宅山田町34 Tel 075-571-1111

8学部15学科の学び

国際英語学部／文学部／発達教育学部／経済学部／
経営学部／工学部／看護学部／健康科学部

University Current Review

大学時報

2022.07 / NO.405



予想外な未来への挑戦を

日比野 英子 京都橘大学学長

社会の要請に応える人材の育成を掲げて幾度も改革を重ねた本学は現在8学部15学科・5研究科の総合大学となった。教職員は常に学生にとって真に必要なことは何かを問い、学生の成長に資すると信じて「これまでにない挑戦」を続け、大学として大きな変化を遂げてきた。この軌跡を振り返れば、学生や卒業生の活躍、教育、研究、キャンパス創造のどれもが予想外な驚きとタチバナらしさにあふれている。予測困難な時代だからこそ、変化を恐れず、学生が仲間とともに新しい挑戦のできる環境を創りだしていく。

構想は大胆に、行動は着実に

北島 己佐吉 九州産業大学学長

1. 変容する社会への対応

少子高齢化やグローバル化への対応といったこれまで指摘されてきた課題に加えて、新型コロナウイルス感染症流行の長期化とそれに伴うデジタルトランスフォーメーションの急速な進展、世界情勢の不安定化など、我々が想定しなかった新たな課題が世界規模で起こっている。

また国連のSDGsの取り組みをはじめ、ゼロエミッション社会など、持続可能な社会の実現を目指す活動に対しても大学の貢献に対する期待は高まっていると感じている。

このような中、大学にはどのような困難な環境においても研究・教育の質を維持し、社会のニーズを踏まえて、長期的視野に立った改革を継続して研究・教育の質を向上させることが求められている。

本学は、学生をグループに分けて対面とリモートの双方で受講できる「ハイフレックス型」授業を昨年度から全学的に導入し、感染症流行状況に応じて、来学規模をフレキシブルに調整している。感染症対策を施しながら、対面授業への学生のニーズに応えるとともに、ポストコロナにおけるスムーズな通常授業への移行を図っている。

また、今後10年間をスパンとする「中期計画」を策定し、長期的な大学改革を進めている。

2. 文理芸術融合のグローバル総合大学へ

本学は「産業と大学は車の両輪のように一体となって、時々の社会のニーズを満たすべきである」という理念のもと、「産学一如」を建学の理想として、1960年に創立

された日本で初めての産業大学であり、文理芸の9学部21学科、造形短期大学部、大学院5研究科に1万人を超える学生が学んでいる。

建学の理想は本学のDNAであり、地域や企業との連携により実践力を育む「KSUプロジェクト型教育」や独自の「キャリア教育」、全学部の再編や創立60周年記念事業の実施など、教育研究活動の改革・推進に取り組んできた。

創立60周年を迎えた2020年には、次の目標である創立100周年に向けたビジョンとして「新たな知と地をデザインする大学へ—もっと意外に。もっと自由に。」を掲げ、実現に向けた第一歩である10年後の2030年の到達目標として「文理芸融合のグローバル総合大学へ」と定めて取り組むべき事項を「中期計画」としてまとめた。

「中期計画」は大学の事業の根幹である「教育」「研究」「社会・地域貢献」「経営基盤」と、今後さらに強化すべき「国際化」「産学連携」「ダイバーシティ」「ブランディング」の8分野に分けて、数値目標を定めて推進している。また5年ごとにアクションプランの修正を行い、時流に即したものとなるようにしている。

この「中期計画」に基づいて前述の「ハイフレックス型」授業の導入をはじめ、時代のニーズを追求した教育研究改革に取り組んでいる。

(1) 社会のニーズに対応したカリキュラムの拡充

「AI・データサイエンス」や「グローバル・フードビジネス・プログラム」などの学部横断型授業や複数学部の教員がオムニバスで授業を行う学部協力型授業、オンライン国際協働学習の開講など、学部横断的カリキュラムを拡充。

(2) SDGsに関する「学長宣言」の制定

「持続可能な開発目標(SDGs)」の実現に向けた活動を、全学的な取り組みとして位置付け、さらに加速させるため、「学長宣言」を制定し、SDGsの達成に貢献する次世代リーダーを育成。

学長宣言

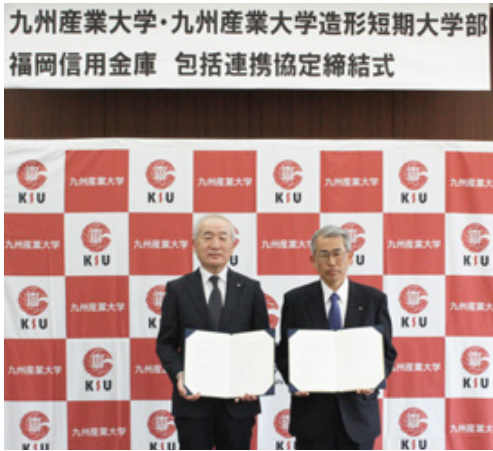
「九州産業大学は、SDGsを推進すると共にSDGsリーダーを育成することを宣言します。」

九州産業大学 SDGs 推進方針

1. 文理芸融合の研究を促進し、社会課題の解決に努める
2. 地域、産業界と連携して、地域社会の発展や課題解決に貢献する
3. SDGsの意識向上を図り、持続可能な社会の実現のために行動できる人材を育成する

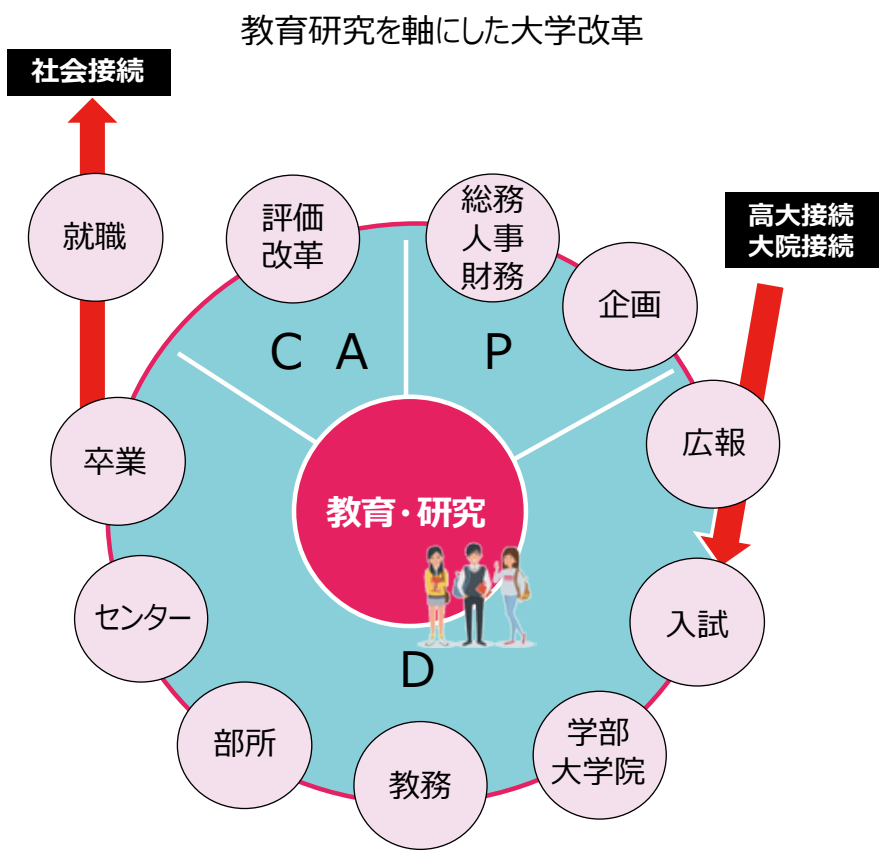
(3) 地域連携と学際をテーマにした共創協働

銀行や信用金庫などの金融機関や通信IT企業などと包括連携協定を締結するなどし、連携関係を深めるとともに、本学の起業家育成のための施設「オープンイノベーションセンター」『インスタンス』を活用した、地域の課題に迅速かつ適切に対応できる人材の育成と活力ある地域社会の形成。



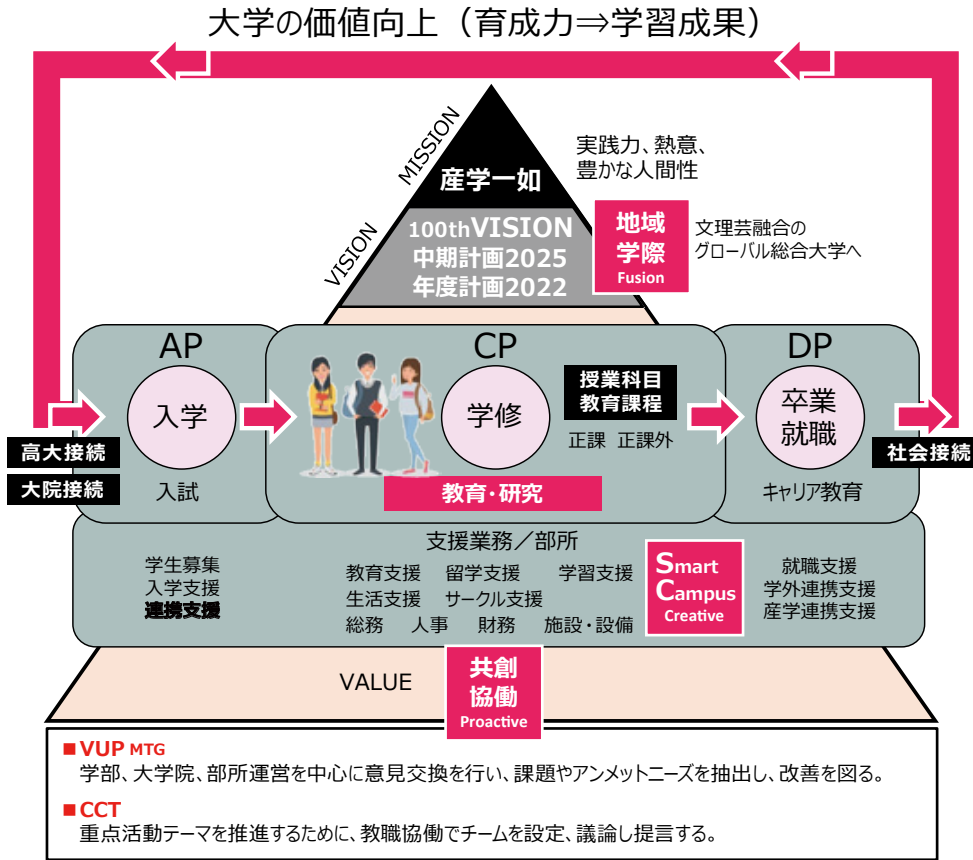
(4) 「高大接続」大院接続」の教育体系

大学入学から就職に至る「高校」大学・大学院」社会人」の各段階をスムーズに移行する教育体系を導入し、学びの質を保証するとともに、地域社会に求められる優秀な人材を育成。



(5) 教職員間の緊密な連携

課題やアンメットニーズ(潜在的な要求や需要)の抽出・改善を図り、効果的な教育研究成果を引き出す



工夫を行うために、教員・職員が自由に意見を言い合う「Value Up Meeting」とこれを推進する「CCT (Cross Collaborative Team)」を設置。

3. 構想は大胆に、行動は着実に

急速に変化する社会に対応して質の高い教育を担保し続けるには、大胆な構想に基づいた長期的なビジョンとその実現に向けた着実な行動が大切である。

九州産業大学は、文系・理工系・芸術系の各学部が同じキャンパスにあるという特色ある総合大学である。その利点を生かし、創立100周年に向けたビジョンを目指して、それを具現化する「中期計画」の着実な実行により、文理芸が融合した特色ある実践的な学びの機会を拡大するとともに、創造性あふれる豊かな感性を持った、次代の産業界をリードし、社会へ貢献できる専門性の高い人材の養成を目指していく。